

医学研究センター

フェローシップ部門

丸山 敬
(部門長)

1. 部門概観

<部門員構成>

部 門 長	丸 山 敬 (MARUYAMA Kei)	:	薬理学(教授)
副部門長	片 桐 岳 信 (KATAGIRI Takenobu)	:	ゲノム医学研究センター病態生理部門(教授)
部 門 員	森 茂 久 (MORI Shigehisa)	:	医学教育センター(教授)
	名 越 澄 子 (NAGOSHI Sumiko)	:	総合医療センター消化器・肝臓内科(教授)
	木 村 文 子 (KIMURA Fumiko)	:	国際医療センター画像診断科(教授)
	石 原 理 (ISHIHARA Osamu)	:	産婦人科学(教授)
	高 田 綾 (TAKADA Aya)	:	法医学(教授)
	鈴 木 正 彦 (SUZUKI Masahiko)	:	保健医療学部・健康医療科学科(教授)

<活動目的>

研究科委員会や医学教育センター大学院教育部門との連携のもとに、常勤教員以外の研究者(非常勤研究者)の経済的・身分的支援を目的とする。

<業務>

1. 奨学生の選考
2. 非常勤研究員の審査・登録
3. 非常勤研究員の身分証明
4. 専攻生授業料免除の審査
5. 各種非常勤研究員の身分的位置づけおよびその他の支援体制の確立
6. 上記に関連して規定集(専攻生, 協力研究員, 特別協力研究員, 特任研究員)の確認
7. 研究支援制度に関する議論と提案

2. 平成26年度の活動

- ・従来の奨学金制度を解消し、博士研究員のみならず、研修医や大学院生(博士/修士)を包括的に支援する制度へと発展することが議論されている。そのため、平成25年度より移行期として、実質的な支援活動は休止となった。選考を休止して、新制度に関する議論を行っていたところ、平成25年3月の医学研究科委員会にて、平成25年4月に入学する外国人大学院生への支援の要望があった。そのため、新制度が稼働するまで、暫定的に従来の「私費外国人留学生等奨学生」の再開が検討された。学長および医学研究センターに提案し、了承された。それに基づいて募集が再開され、平成26年度も選考(3名に授与)を行った。
- ・部門員の任期である平成26年3月を機会に、平成26年4月からの部門員および副部門長の変更を行った。保健医療学部にもご推薦いただき、医学部(毛呂<基礎と病院>, 国際, 総合), ゲノム, 保健医療学部, 教育センターと全学的な検討体制が構築できた。

3. 現状と今後の課題の総括

<新しい研究支援制度について>

- ・平成24年度よりの議論を踏まえて議論と提案を行っていく。

<暫定的な支援制度について>

- ・新制度が実施されるまで、現状に即して暫定的な支援の実施と提案をする。

<定例会議とメール会議>

- ・ 年 1 回の定例会議で研究支援について自由な議論を行っていく。
- ・ 具体的な課題については、メール会議にて迅速に結論を答申できるようにする。年 4 回程度のメール会議を行っている。